

## 学部学科研究会 **—大学の模擬講義を受けました—**

12月6日（金）学部学科研究会が行われました。全部で10分野の講座が開かれ、生徒はそれぞれ希望の講義を真剣に受けていました。進路について考える良い機会となりました。

1 テーマ 「模擬講義を受け、学問・進路について考える」

2 目的 ①大学の先生方の講義を聴くことで見識を高めさせる。  
②学問分野全体を見渡した上で、関心のある分野を見だし、自己の進路を明確にするための一助とする。

3 講座分野と生徒の感想



①人文科学 『映画で異文化理解と英語学習』  
富山大学 人文学部 人文学科 赤尾 千波 先生

・映画で実際に使われている表現は、現地でも実際に使われているものなので、学んでおくことで聞き取ることができるようになってわかった。私はディズニー映画が好きで、よくディズニーの歌を英語で聴くが、文法等にはあまり注目したことがないので、今後は注目していきたい。また、洋画を吹き替えではなく字幕で見ようと思った。



②社会科学 『消費者の契約トラブルとその対処法  
～これから「成年」となる皆さんのために～』  
富山大学 経済学部 経営法学科 森嶋 秀紀 先生

・今回の講義で契約についてたくさん知ることができました。意思表示は法律用語であることを知り驚きました。また、詐欺にひっかかった場合は民法 96 条によって取り消すことができることを知りました。その他にも取消権など、詐欺への対応についてしっかりサポートしてくれる民法というものがあることを知り、自分が知らないだけでたくさんの法律があることがわかりました。



③教育 I 『心理学ってなんだろう？：記憶についてのあれこれ』  
富山大学 人間発達科学部 人間発達化学科 近藤 龍彰 先生

・何かを覚えるときは、自分の持っている記憶と関連づけて覚えると覚えやすく、思い出しやすいということなので、1つ1つの情報を様々なことに関連づけて覚えていこうと思います。また、将来先生になった時には、情報を1つ1つ区切って伝えてあげたいと思いました。



#### ④教育Ⅱ 『子どもの運動遊び・伝承遊び』

富山短期大学 幼児教育学科 大森 宏一 先生

- ・今回の講義で今後に生かしたいと感じたことは、子どもに共感することです。子どもが悪いことをしてしまってもすぐに怒らず、どうしてそのようなことをしてしまったのかを考えてあげることが大切だとわかりました。叱ることも大切ですが、否定ばかりしていても子どもは楽しくないだろうなと思いました。



#### ⑤理学・工学Ⅰ 『化石から探る太古の地球環境』

富山大学 都市デザイン学部 地球システム科学科 佐野 晋一 先生

- ・地球の過去の時代は、今、昔と同じようなことが起こったときにどのようになるかを教えてくれるし、昔の化石が今でも利用される場面もある。現在は過去の鍵、過去は未来の鏡、過去にあったことは今とても重要な鍵になることが分かった。過去のことにとっても興味を持つことができた。今の自分ができることも分かりたいし、今の世界の変化にも気づいていけるようになりたい。世界をより良い方向に導けるような人になりたいと思った。



#### ⑥理学・工学Ⅱ 『人の手と機械の手』

富山県立大学 工学部 知能ロボット工学科 玉本 拓巳 先生

- ・大学の授業では、高校の数学や物理が基本になっていて、より高度な内容を学ぶためには基礎をしっかりと身につけていることが必要だと思った。大学でより充実した研究をするために、今高校で学んでいる内容を確実に習得し、積極的に学習に取り組む姿勢を身につけていきたいと思った。



#### ⑦理学・工学Ⅲ 『コンピュータはかしこいか“だら”か?』

富山県立大学 工学部 電子・情報工学科 西田 泰伸 先生

- ・講義を聞いて、今まで人工知能の将来について軽く考えることはあっても、深く知ろうとすることはなかったので、今後をもっと深く知ってみようと思いました。今の社会では人工知能を利用している人がいて、それはこれからも変わらないことだし、逆により発達していくことだから知る必要があると思いました。



⑧理学・工学IV 『ゴミ（廃棄物）の現状と課題について』

富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 佐伯 孝 先生

- ・ゴミ処理には多大なお金と手間がかかることを知りました。特にレジ袋については、自分はレジ袋を使わないことが正しいと思っていましたが、レジ袋を使用しないことで出てくる問題点も少なくない事を聞き、考えを改めました。物事を俯瞰的に見るのが大事だと思いました。物事を俯瞰的に見ることや個人でもできる環境に優しい行動をしようと思いました。



⑨看護 『ライフサイクルにおける健康課題を乗り越えよう！』

富山県立大学 看護学部 看護学科 松井 弘美 先生

- ・これから先生きていく中でいろいろなイベントがあり、課題が出てくることを知ったので、自分のライフサイクルを作り、それぞれの課題に対応できる力をつけようと思いました。また、加齢に伴い記憶は低下しても知恵はほとんど変化がないことがわかったので、今のうちからたくさんのことを経験して様々な技能を身につけ、自己効力感を得られるように生活していきたいと思った。



⑩福祉 『社会福祉とは何か？』

富山国際大学 子ども育成学部 子ども育成学科 室林 孝嗣 先生

- ・広い視野を持っていると、今までの固定概念とは違った考え方が持てるので、様々な視点から物事をとらえられるようになりたい。
- ・今後はボランティア活動などに積極的に参加し、周りで困っている人がいたら助けたいと思った。